

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区三好1丁目83 越前屋ビル4F
施設名	カメラキッズ清澄白河園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

英語ってたのしい

〈テーマの設定理由〉

乳幼児期は音やリズムへの感受性が高く、英語を「教育」としてではなく「楽しい音・ことば」として自然に受け入れやすい時期である。本テーマでは、歌や遊びを通して英語に親しみ、英語に対する抵抗感を持たずに「楽しい」「またやりたい」という気持ちを育むことを目的とする。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・毎日の保育時間の中に組み込む

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・英語の歌や音楽教材・動物や身近な物のフラッシュカード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ、記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

英語の歌や手遊びを通して、音やリズムを楽しむ活動を行った。フラッシュカードや絵本を用いて、動物や身近な物の名前を日本語と英語の両方で紹介し、子どもが指差しや発語、模倣を通して関われるようにした。散歩や日常の遊びの中でも、見つけたものを英語で表現し、自然な形で言葉に触れられるようにした。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

英語の歌が流れると体を揺らしたり、笑顔を見せたりする姿が見られた。音楽のリズムや心地よい響きを全身で感じ取り、楽しんでいる様子うかがえる。また、聞き慣れない音が流れると耳を傾け、じっと英語講師や保育者の顔を見る姿があり、不安や興味を抱きながら大人の反応を確かめようとする姿が見られた。子ども同士では、友だちの体の動きを見てまねをしながら、一緒に体を動かす姿があった。言葉でのやりとりは十分ではないものの、同じ音楽や動きを共有する中で、自然とつながりが生まれている様子を感じられる。

英語講師と保育者の穏やかな表情や声のトーンに安心し、自らそばに寄ってくる姿が見られた。安心できる存在を拠りどころにしなが、新しい刺激や体験に向き合おうとする姿が育っていると考えられる。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

英語のあいさつや歌に触れる活動を通して、子どもたちが英語を楽しむ姿勢を示していることに気づいた。特に体を揺らしたり笑顔で反応したりする姿が多く見られ、英語が楽しい音として受け止められていることが分かった。また、色や形、動物や果物などの英語の語彙が増えてきている場面も多く見られ、カリキュラムへの参加においても「僕も！私も！」と積極的に楽しむ姿が見られるようになっていくことに気づいた。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区三好1丁目83 越前屋ビル4F
施設名	カメラキッズ清澄白河園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

体幹・バランスを育む

〈テーマの設定理由〉

自由遊びの中で、片足立ちや平均台渡りなどに挑戦する姿が見られ、身体の安定やバランスへの関心が高まっていた。サーキット活動を通して、跳ぶ・渡る・バランスをとるなどの動きを段階的に経験し、体幹の発達や安定した姿勢を育みたいと考え、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・平均台・マット・プールスティック・踏み台・安全確認用マット・記録用カメラ、記録用紙・手作りラダー・フラフープ

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

平均台やバランスボールで体幹やバランスを意識した運動を行った。コースの途中で姿勢を保つ場面を設け、集中力を高めた。段階的に高さや動きを変え、挑戦意欲を促した。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

両手を広げてバランスを取りながら慎重に歩き、倒れそうな時にはサーキット講師や保育者に助けを求める姿が見られた。また「みてて」「できたよ」といった声も聞かれ、成功すると笑顔で喜び、友だちと体験を共有する様子が見られた。友だちの姿に刺激を受けて再度挑戦しようとする姿もあり、関わりの中で意欲を高めながら活動を楽しんでいた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

段階的に難易度を調整することで子どもたちが主体的に挑戦する姿が増えていることに気づいた。また、平均台やバランス石の活動を通して、歩きながらバランスを取ることやその場で止まることを楽しむ姿が見られ、活動自体への意欲も高まっていることが分かった。さらに、高月齢の子どもは自分でバランスの取り方のコツをつかもうとし、低月齢の子どもは保育者につかまりながら取り組むなど、一人ひとりの発達段階に応じた関わりの違いが見られたことから、個々に応じた支援の必要性を改めて実感した。